

「今日が楽しく 明日が待たれる学校」



■ 参観日 ■

12月17日(土)は、参観日を実施しました。参観授業では、1年「SNSの扱い方」、2年「学校生活の人権に関わる問題」、3年「相手を傷つけないとは？」を題材に、人権学習に関わる道徳の授業を行いました。保護者の皆様はどう感じられたでしょうか？9教科の授業とは違い、人間関係や生き方に関わるこういう授業も大切だなと感じられたのではないのでしょうか！？



■ ロードレース大会！！ ■



上記の参観日と同じく17日に実施予定でしたが、あいにくの天候(雨天)のため、19日(月)にロードレース大会を順延実施いたしました。運動場から細田川沿いを中心に、男子3km、女子2kmのコースでした。体育の授業や昼休みにランニングに取り組んだりして本番に備えていましたが、生徒全員、ケガもなく元気に完走することができました。



<ロードレース大会の結果> ※敬称略

男子1位 松岡 光我(2年) 女子1位 吉村 仁花(1年)
2位 黒木 悠生(2年) 2位 岩元 芽里(2年)
3位 岩元 駿太(3年) 3位 滝瀬 由梨(2年)

敢闘賞 ※授業で頑張っていたので賞(毎回の投票による)
竹本かのん(1年) 井戸口愛夏(2年)
岩元 芽里(2年) 岩元 駿太(3年)

生徒自身の頑張りはもちろん、沿道の保護者、生徒や職員からの声援があったからに違いありません。そして、細田駐在所の中武さんが、昨年に引き続き参加していただきました。

■ 生徒会組織発足！！ ■

生徒会立会演説会・選挙(※11月号参照)を受けて、生徒会の新体制が決まりました。11月16日(水)に、生徒会役員・専門委員長認証式が行われ、旧役員の3年生には感謝状が、新役員には任命状が授与されました。

元生徒会長の黒木育月さんをはじめ、役職を降りる一人ひとりが、活動を充実させるために試行錯誤して取り組んだ苦しい胸の内や、話し合いをまとめる難しさ、役員を引き受けて良かったことなどを述べ、有終の美を飾りました。

新役員は、新会長の松岡光我さんが、代表してこれからの抱負を力強く述べてくれました。今後の学校行事や日常生活を充実していくために、1、2年生を中心に生徒会活動をリードして行きます。彼らの活躍に期待しています。

<生徒会役員・新体制> ※敬称略

生徒会長	松岡 光我(2年)
副会長	竹本かのん(1年)
書記・会計	川越ほのか(2年)
学習文化委員長	守山 妃和(2年)
副委員長	吉村 仁花(1年)
生活保体委員長	岩元 芽里(2年)
副委員長	杉田 竜馬(1年)

■ 4校ボランティア！！ ■

11月18日(金)の午後に、細田地区小・中学校4校の児童・生徒でボランティアを行いました。

各小学校の活動場所に、卒業した中学生が訪れ一緒に活動しました。20年近く続けている伝統的な活動です。細田小学校区は「細田交流センター・東下中公民館・川下公民館」に分かれて、大窪小校区は「大窪神社」で清掃活動をしました。

大堂津小校区は、「はまぼう公園」での清掃活動でしたが、残念ながら雨天ため「各学校の校内清掃」となりました。

小学生との交流や地域を愛し、地域に貢献する気持を育むことを目的としています。



12月のことを師走といいます。以前、私は「先生も走るほど忙しい月」という意味だと思っていました。しかし、よくよく調べてみると師とはお坊さんのことを指しているという説が一般的なようです。この月になると、各家庭で法事を行うため、お坊さんが忙しくなるからだということのようです。また除夜の鐘や初詣の準備など普段落ち着いているお坊さんですら走り出すという意味であてられた漢字のようです。また、同じような意味でお寺にやってくる人をもてなす御師（おし・おんし）の師だという説もあるようです。ただ、師走という言葉は、師という漢字をあてる前から存在しており、四季が終わる月「四極（しはつ）月」から変じたものだという説もあるようです。



※正月によく新春とか初春とかいいますよね。今から冬が本格的になるというのに昔の日本では1年の始まりは春、終わりは冬という考え方をしていたようです。

さて、学校も慌ただしいのは一緒です。テストの作成や採点、成績をつけたり通知表を書いたりと普段よりも仕事の中身が増えてきます。それにもまして増えてくるのが、高校入試に関する事務作業です。

細田中学校では、全職員が入試事務に携わります。間違いの許されない業務なので毎年神経をすり減らすことになります。特に、3年生の担当ともなるとその気配りは大変なものです。ちなみに私が初めて3年生の担任をしたとき、私だけでなく複数の先生方に一緒に点検していただき、ようやく書類を提出しました。提出して生徒本人も確認したはずだったのですが、毎晩のように書類や願書を点検する夢を見ました。私が間違っただけで生徒が受験できないという夢です。実際に生徒が試験を受けるまで、そんな夢でうなされ目を覚ましていました。県立高校の入試というと昨年度から大きく変わったことがあります。推薦制度が、学校推薦から自己推薦に変わったことです。今までは推薦を希望しても、学校の推薦委員会で認められないと推薦受験できませんでしたが、昨年からは自分が推薦を希望すれば誰でも推薦入試が受けられるようになりました。県立高校を2回受験するチャンスが与えられたと考えてもいいかもしれません。しかし、ここで落とし穴が一つ、推薦入試には自己推薦書の提出が義務づけられています。この自己推薦書、生徒本人が書くことになっています。今までは、内容にまで踏み込んだ添削をしてきたのですが、誤字等の訂正しかできなくなりました。つまり、自分の良さ魅力を文章にすることができなければ、折角のチャンスを生かせず合格できないということです。今行われている授業の考え方は「主体的・対話的で深い学び」といわれています。「先生から言われたことを覚えればよい」というだけではこれからの世の中、生きていけないと考えられているということです。覚えた知識を関連付けたり、友達の考えを聞いたり、自分の意見を言ったりといった作業が今以上に必要になります。当然、入試や入社試験等もその方向に変わっていくのです。



単なる知識は、スマホで検索すれば出てくる世の中です。AIが発達すれば、今以上に曖昧な内容にも答えてくれるでしょう。今からの人間に必要なのは、それらにできないコミュニケーション力やその場の雰囲気、人の心を瞬時に判断する力です。学校で、家庭で、地域でそれらの力を磨いていきましょう。

■ 1月の主な行事予定 ■

- 1日(日) (祝)元日
- 6日(金) 3学期始業の日 ※給食カット
- 9日(月) (祝)成人の日
- 12日(木) 実力テスト(全学年～13日)
- 13日(金) 英語検定
- 18日(水) 食に関する集会
- 19日(木) 13歳のハローワーク(1年)
新春子どもの声を聴く会
- 24日(火) 私立高校入試事前指導(3年)
- 25日(水) 私立高校入試(～26日)
全専・中央委員会

■ 2月の主な行事予定 ■

- 1日(水) 4校合同研修会③
- 2日(木) 宮崎県立高等学校推薦・連携型者選
抜検査(3年)
- 3日(金) 参観日、立志の集い(2年)
- 11日(土) (祝)建国記念の日
部活動中止(～16日)
- 13日(月) 教育相談(～16日)
- 15日(水) 南那珂地区小中学校教科等研究会
- 16日(木) 期末テスト(～17日)
- 22日(水) 全専・中央委員会
- 23日(木) (祝)天皇誕生日